



## ゲンゴロウ?

それは5月5日、井出堰作業時のとある一幕。

「昨日、溝を掃除しよったら、ゲンゴロウを見つけたんよ。」とMさん。Kさん宅の水槽で泳いでいるとのこと。早速見せてもらってパチリ。その後、専門家に写メを送り調べてもらったところ、返ってきた答えは「これはゲンゴロウではなく、立派なガムシですね」と。

「愛媛県レッドデータブック」によれば、ゲンゴロウはゲンゴロウ科、ガムシはガムシ科に属する昆虫で、いずれも止水性のため池や水田に生息するよく似た生き物。かつては、県内でも広く生息が確認できましたが、ほ場整備やため池の改修、農業により、環境省レッドリストカテゴリーで、ゲンゴロウは絶滅危惧2類(VU)に、ガムシは準絶滅危惧(NT)に分類されており、絶滅の危険が増大している種、もしくは、いずれは絶滅危惧へ移行する可能性がある種だそうです。

昔は当たり前のように目にした昆虫たち。知らない間にその姿を消しつつあることに、私たちはいま何を思い、何をすべきなのでしょう。

# 母の日を記念して爽やかな汗

## レクバレー、ワンバウンドバレーに各2チームが出場

5月12日（日）午後9時より城の台公園体育館をメイン会場に、小田自治センター主催、小田地区自治会連絡会共催による「第54回母の日バレーボール大会」が開催され、立石自治会からはレクバレー（男女混合）、ワンバウンドバレーにそれぞれ2チームが出場しました。クロツケーは、残念ながら雨天の為に中止となりました。

大会への参加者が減少したことで、バレーボール種目はレク

バーとワンバウンドバレーの2競技となりました。ただ、以前は町内在住者のみに限られていた参加資格が緩和され、町外在住者でも、小田地区出身者や小田地区在住の方の関係者であれば、申し合わせにより参加も可能となったようで、この大会を通じて町内外の交流の輪が広がっているようです。時代の変化とともに、大会もまた、姿を変えながら継続されています。

なお、戦績は左ページの通り。



城の台体育館での開会式の様子



参川地区体育館でのワンバウンドバレー

### 5/10 小田中学生が願成寺を訪れる

気持ちの良い五月晴れの中、小田中学校1・2年生の皆さん17名が、遠足で願成寺を訪れ立石の歴史に触れました。ご対応頂いたのは、願成寺ご住職の三浦哲生さんと立石長寿会の門田秀夫会長さん。

最初に門田会長が、立石の歴史や農業の移り変わりとともに、その昔、石山村が生糸の大暴落により財政危機に陥った頃、村民が一致団結して質素儉約に努め、村の産業と財政を立て直すきっかけとなった「愛宕の鐘」と「更生徳利」にまつわる話をされました。

続いて三浦住職からは、お寺の云われや、寺の正面にそびえる尾首城址の歴史について、詳しい説明がありました。

子どもたちは、初めて聞く立石の歴史に興味深く聞き入っていました。地域の歴史を知り、それを身近に感じてもらうことで、ふるさとへの思いがこども達の胸に深く刻まれると嬉しいですね。



### 5/11 自治会花壇が花いっぱい！

今年も、女性部の皆さん方によって、自治会館の花壇と玄関前のプランターが花いっぱいになりました。今回は、ポチュラカ 150 株、マリーゴールド 60 株、ペゴニアガ 30 株がそれぞれ植栽されました。花のある環境で活動が行えることは素晴らしいこと。女性部の皆さんに心から感謝です。



## 防災士になろう！

防災士とは”自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。防災士は、より住民に身近な自主防災会などの運営においてリーダー的役割を担っており、安心・安全の地域づくりには欠かせない存在です。

●防災士登録状況（2024年5月末日時点）  
 全国 288,997人 内子町 209人（うち立石自治会 4人）

●防災士になるには？  
 防災士養成講座を受講し合格する必要があります。  
 ※令和6年度の愛媛県防災士養成講座  
 9月14日～15日 大洲市役所（メイン会場）  
 9月7日～8日 南予地方局八幡浜支局（サブ会場）

- 養成講座の受講から資格取得までの流れ
1. 受講希望者は自治会長まで連絡してください。  
 →自治会長は、受講者推薦書を7月26日（金）までに役場総務課危機管理班へ提出してください。
  2. 講座を受けるには「救命救急講習」を受けていることが条件です。  
 →未受講の場合、詳細は自治会長にご確認ください。
  3. 受講初日受付時に「履修確認レポート」を提出し、2日間受講します。  
 →出題形式は3択式。30問出題され、24問以上の正解者が合格。  
 可否通知は直接本人へ通知。
  4. 資格試験の合格者は、講座2日目に配布される「防災士認証登録申請書」に必要事項を記入の上、救命救急講習の終了証の写しを添付し役場総務課に提出してください。
  5. その他  
 →費用は町が負担します。（受講会場への交通費は各自負担）  
 →資格取得後は、内子町防災士連絡会へ加入の手続きを行います。

●お問い合わせ先  
 内子町役場 総務課 危機管理班 消防防災係  
 ☎ 0893-44-6150



### 出場チームの戦績

レク・バレーボール1部 (城の台体育館)			
1	上川A	2-0	立石A
2	寺村B	2-0	本川A
3	上川A	0-2	本川A
4	立石A	0-2	寺村B

※0勝2敗…リーグ4位

レク・バレーボール3部 (参川小体育館)			
1	吉野川B	0-2	寺村B
2	寺村B	2-0	立石B
3	吉野川B	1-2	立石B

※1勝1敗…リーグ2位

ワンバウンドバレーボール (参川地区体育館：舞台側)			
1	本川A	21-10	立石A
2	中川A	13-9	小田たらのめ
3	本川A	20-7	小田たらのめ
4	立石A	10-21	中川A

※0勝2敗…リーグ3位

ワンバウンドバレーボール (参川地区体育館：玄関側)			
1	小田たけのこ	11-15	立石B
2	本川B	5-27	中川B
3	小田たけのこ	8-18	中川B
4	立石B	10-17	本川B

※1勝1敗…リーグ2位

歩いて貯めよう！健康貯金

# 田休みウォーク 2024

7/14  
 (日)  
 雨天中止

今年で3回目となるウォーキングイベントを開催します。健康増進とリフレッシュも兼ね、立石の原風景を愛でながら、皆で楽しく歩きましょう！

- ➡参加希望者へは体育部より連絡があります。
- ➡お問合せは、自治会体育部長（中組：亀岡さん）まで。



昨年のウォーキングの様子

### 色々な情報、話題をお寄せください！

広報部では、自治会・各種団体からのお知らせや活動の様子などを「会報たていし」に掲載し、毎月皆様のお手元にお届けしています。

「うちの庭に珍しい花が咲いた」「見たこともない野菜が採れた」「うちの班ではこんな楽しいことをしている」などのちょっとしたニュースのほか、珍しい写真や資料、地域の明るいニュース、楽しい話題、なんでも構いませんので広報部に情報をお寄せください。

今年度も充実した紙面づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。そして、会報「たていし」を便利にご利用ください！

1. 各団体からのお知らせについて  
 毎月25日を目処に次月の15日以降の予定をお知らせください。  
 例 ・自治会各事業部の行事予定  
 ・神社やお寺、愛宕山などの催し  
 ・長寿会や自主防災会、その他関係団体の行事、イベント告知 など

2. 広報部の連絡先  
 Tel / Fax 0892-52-2217（山岡）  
 E-mail tateishi-jichikai@gmail.com



6月16日（日）～7月20日（土）

# 暮らしの情報カレンダー

各団体の行事予定をはじめ、楽しい話題、珍しい野菜や果物、面白い出来事—。なんでも結構です。広報部までどしどしお寄せください。

発行／立石自治会 〒791-3505 愛媛県喜多郡内子町立石 936 番地 TEL 0892-52-2977 E-mail tateishi-jichikai@gmail.com

日	月	火	水	木	金	土
16 ■女性部一日研修	17	18 燃えるゴミ	19	20 ビン・ペット外	21 燃えるゴミ	22 ■立石自主防災会総会 (19:30~)
23	24	25 燃えるゴミ	26	27 燃えないゴミ	28 燃えるゴミ	29
30	7/1	2 燃えるゴミ	3	4 古紙	5 燃えるゴミ	6 ◆四国アイランドリーグ Plus2024in内子 / 城の台公園 (12:45~)
7 ■班長会 (19:30~)	8	9 ◆行政相談 / 小田自治センター (9:30~) 燃えるゴミ	10	11 空き缶	12 燃えるゴミ	13
14 ■田休みウォーク 2024 ◆せせらぎビアガーデン / 道の駅せせらぎ (17:30~21:00)	15 海の日	16 燃えるゴミ	17	18 ビン・ペット外	19 燃えるゴミ	20

■…自治会、立石地区の行事 ◆…小田地区、町の行事

●人のうごき (R6.6.1 現在)  
世帯数 84 世帯 (△1)  
人口 152 人 (△1)  
男 68 人 (0)  
女 84 人 (△1)  
( ) …前月比

●自治会館等掃除当番  
6月 天神中  
7月 上組



今年も、我が家の田植えが無事終了。毎年のことですが終わればホッと一安心。歳を重ねる毎に体力の衰えを感じつつ、一方では達成感も感じながら、こんな素敵な景色に癒されております。これからも守り続けた農村の原風景。でも、いつまで続けられるだろうか。(敦)

編集 幸記

http://www6.plala.or.jp/tateishi/